



道路を考える会は、札幌市の都市計画道路3・2・10 環状通（南19条西7丁目～西15・16丁目）の整備計画について、従来の車優先で車道ばかりの広い道路から、歩行者や自転車などが、快適に利用できる歩道の広い道路に、整備計画を少しだけ変えてほしいと、札幌市へお願いしている市民活動団体です。

道路通信 4

環状通沿道の皆様、札幌市民の皆様へ、

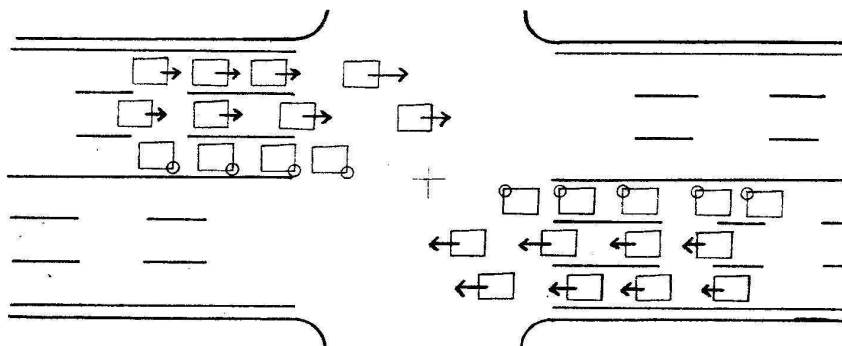
環状通の整備計画は、札幌市の都市計画ですので、市民のみなで、街づくりを考えていきましょう。

札幌市の整備計画と、要望案の道路とは、交通容量において、大差ないと考えています。

図を見てください。

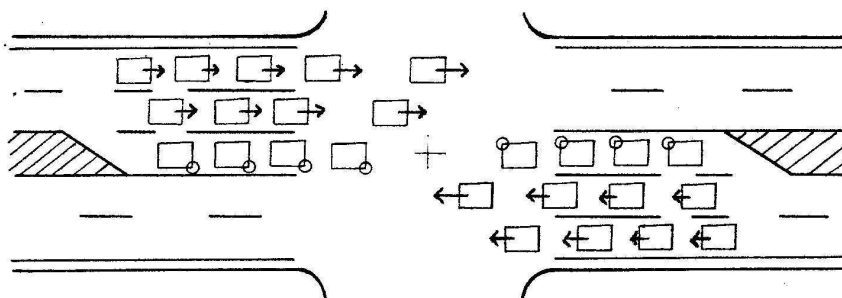
札幌市の整備計画は6車線道路、要望案は車道分5車線の道路、3枚目に、道路の断面図載せてあります。ご参照下さい。

6車線の道路の車の流れ（札幌市の整備計画の道路）



右折車によりセンターラインよりの車は、止まり、直進方向へは左右2車線が動きます。

車線数5車線の道路の車の流れ（要望案の道路）



右折車は右折の付加車線に入り、直進方向へは左右2車線が動きます。6車線の車の動きとほぼ同じです。

ここ南19条は、札幌市の特徴である碁盤の目状に道路が整備されており、交差点の多い地域です。交差点の多い道路では、青信号でも、右折する車によりセンターラインよりの車線は、右折待ちの車両により車の流れが止まるので、6車線だと双方向のそれぞれ1本ずつの車線が止まります。これを、1つにまとめたのが、要望案の道路です。

車が流れるのは、どちらも、両サイドの2車線分ですので、交通容量はほとんど同じであろうと考えられます。

ほぼ同じ、交通容量で、歩道が広くとれ (5.0 m)、歩行者や自転車、藻岩山の観光、豊平川と藻岩山のアクセス性の向上(自転車でのアクセスは市民のリフレッシュ・水辺と緑のオープンスペースの利用に有効)、沿道の住環境にとっても、いいと思います。

要望案の道路の方が楽しそうではありませんか。

楽しく、住み良い街であった方がいいと、思いませんか。

道路構造令において、車線数を決める際の一車線あたりの交通量というものがあり、車線数四以上・交差点の多い第四種の道路では、「0.6を乗じた値を一車線当たりの設計基準交通量とする」という文章があります。道路構造令は、平成25年4月1日より、札幌市の条例によることになっていますが、「札幌市道路構造の技術的基準及び道路標識の寸法に関する条例」においても、同様に「0.6を乗じた値を1車線当たりの設計基準交通量とする。」となっています。

4車線以上ということなので、4車線も、6車線も同じというザックリとした係数であります。

ここで、右折車による影響として、4車線でも6車線でも、同様にみられることですが、青信号であっても、センターラインよりの車線は、右折待ちの車が止まることにより、車の流れはほとんど止まったままであることを考えれば、

4車線では、片側2車線のうちセンターラインよりの1車線がほぼ止まったままであれば、交通量は、二分の一の、0.5の交通量となり、

6車線では、片側3車線うちセンターラインよりの1車線がほぼ止まったままであれば、交通量は、三分の二の、0.666…となります。

先の道路構造令や、条例の中の、係数0.6は、この右折車による影響を考慮して、4車線も6車線も同じ係数というザックリ感を、考えれば、0.5と0.666…のあいだをとって、0.6なのではないかと考えられるのではないのでしょうか。

交差点の多い道路の車線数を決定する際の交通量が、その影響を考慮する主たるものが、右折車両により、青信号であっても右折待ちによってセンターラインよりの車線1本がほとんど、止まったままであること、このことが、車線数を決める際の交通量の0.6の係数の根拠であるならば、右折車の影響のある、現状の4車線と、要望案の車線数5本の道路（この形の道路も4車線と呼ばれるそうです。）では、交通容量においては、全く違います。

要望案の道路は、右折の付加車線を、整備しますので、右折車による、影響がほとんど、なくなりますので交通容量において、現状の4車線の道路とは全く異なり、整備計画の6車線の道路とほぼ同様の交通容量が保たれるということになります。

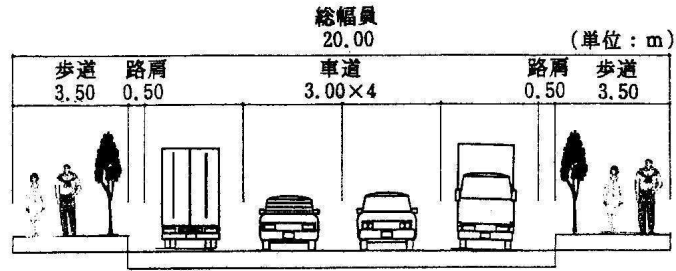
また、右折車が交差点の手前で、右折の付加車線を選択し、入るということは、同一車線に右折車と直進車が混在することが無くなり、交通安全上も優れた道路となります。

道路を考える会

道路断面図

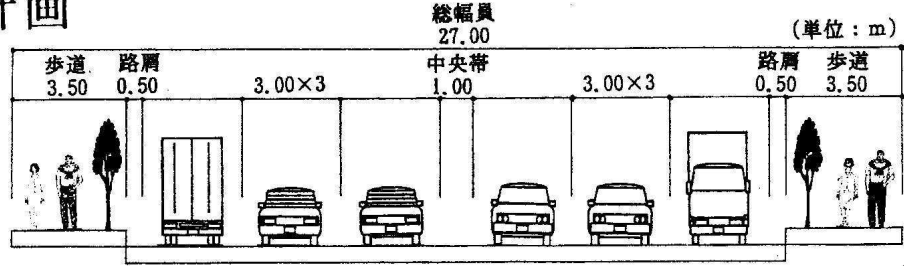
現状

現状
4車線
幅員20m
春夏秋



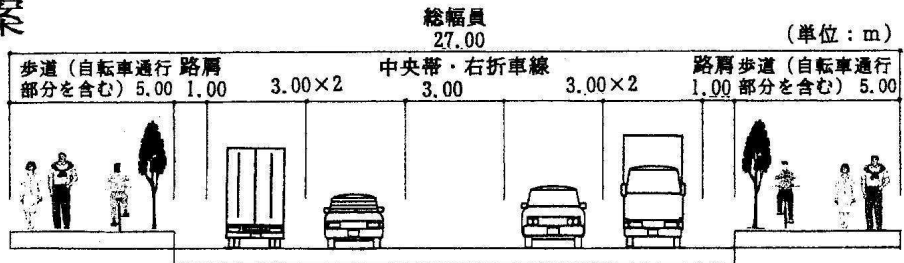
整備計画

札幌市
整備計画
6車線
春夏秋



要望案

道路を考える会提案
5車線
春夏秋



いつも、お世話になっております。

3・2・10環状通整備計画を少し変更していただきたく札幌市長、交通計画課、道路課へお願いいたしております。札幌市議会議員の皆様へもご理解とご協力をお願いをいたしております。視察に来てくださった方、話を熱心に聞いてくださりアドバイスや、フォーラム等へいっしょに参加してくださった方、話を聞いてくださり札幌市の推計の交通量のデータについての質問について、札幌市側からの説明をしてくださるよう、札幌市へ、働きかけをしてくださった方など、市議の方からもご協力をいただいております。ありがたいばかりで、ございます。

はじめは、一個人として、一地権者としての活動でしたが、札幌市側から行政に考えてもらうには、個人よりも多くの市民の声としての方がいいというアドバイスをいただき、地域の皆様へ働きかけをいたしまして、ご賛同の声も集まり、また活動の仲間もできて、会という形になってまいりました。（「道路を考える会」）

市民活動団体の申し込みを、いたしまして、この度、『道路を考える会』が、市民活動団体として登録されましたことを、ご報告申し上げます。（平成25年6月21日付けで、登録されました）

これからも、道路のことを、真剣に真面目に考えてまいります所存でございます。

よろしく、お付き合いいただくことを、お願い申し上げます。道路通信の配布は、道路を考える会の活動の実績ということでとても重要なことでもあります。ご協力を、お願い申し上げます。

道路を考える会

